

事業概要シート

施策： 防災対策の推進

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 東浦漁港海岸高潮対策事業	現状維持	予算額	109,026 千円
			《 51,437 》
財源内訳		国庫支出金	54,500 千円
		県支出金	19,075 千円
		地方債	31,800 千円
		その他	千円
		一般財源	3,651 千円

【事業の目的・概要・対象】

外浦小路地区の団地はS57～58年にかけて護岸の建設を行ったが、たび重なる台風や高潮及び冬季の波浪のたびに越波により地域住民の半数が体育文化センターに避難している状況である。このため、地元町内会より平成9年～平成13年にかけて隣接する前船津地区沖合に設置されている離岸堤の増設の要望が出されている。当該地は未だ、越波・浸水等防災上非常に危険な状況にある。このことから、離岸堤の新設や護岸の改良を行い住民の安全を確保するものである。

離岸堤設置工事：L=60m(消波ブロック4t型、被覆石1t内外)
 護岸改良工事：L=46m(現場打コンクリート擁壁、被覆石)
 事業費負担区分：国50% 県17.5% 市32.5%

【背景】

前船津地区・外浦小路地区は台風及び冬季波浪の度に民家等に被害を受けているため、平成19年7月に外浦小路庁内会長より離岸堤及び護岸改良の要望書が提出されている。現在までに、平成18年9月の台風13号により自主避難8世帯、床上浸水2世帯、床下浸水3世帯又、平成25年の台風24号により自主避難7世帯、床下浸水3世帯の被災が 있습니다。

担当課	産業振興部	農林水産整備課	問合せ先	0957-53-4111(内線254)
-----	-------	---------	------	---------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	海岸背後地区の浸水被害防護面積	ha	0	1.12	1.12	1.12	
②							

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	離岸堤整備率(整備完了基数) 整備済基数/東浦漁港海岸計画離岸堤の基数	%	60	60	100	100	
②							

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費		13,160	18,487	51,437	109,026	29,040	221,150
国庫支出金		6,580	9,182	25,718	54,500	14,520	110,500
県支出金		2,303	3,213	9,001	19,075	5,082	38,674
地方債		3,800	5,300	15,000	31,800	8,494	64,394
その他							0
一般財源		477	792	1,718	3,651	944	7,582
人件費		2,122	2,462	3,129			7,713
職員		0.26人	0.31人	0.40人			0.97人
時間外勤務		144h	104h	110h			358h
嘱託員							0.00人
フルコスト		15,282	20,949	54,566	109,026	29,040	228,863

妥当性 (市の関与)	本事業は、地域住民の生命、財産を守り安全、安心を確保する観点から市の関与は必要である。
有効性 (施策貢献度)	本事業を行うことで、地域団地住民の財産を越波・高潮等の被害から守ることとなり、施策効果は高い。
効率性 (コスト)	本事業は、国の補助事業であり負担割合は、国の補助基準により決められている。

1次評価	離岸堤及び護岸の整備を行うことは、地域住民を浸水被害から守ることとなり妥当である。
2次評価	事業を行う事で東浦外浦小路地区団地住民の安心・安全が十分に図られ効果は甚大である。